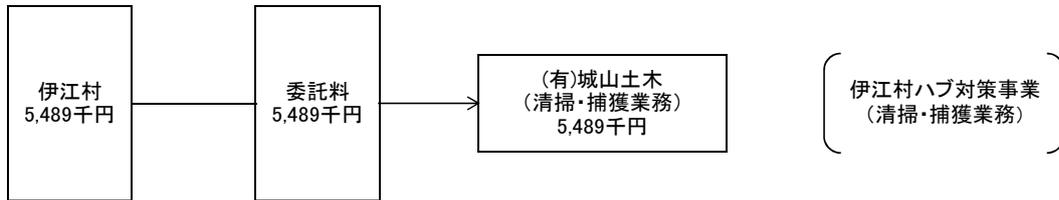


市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	伊江村ハブ対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-イ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	快適な生活環境の形成	
事業内容	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	5,600	5,600	6,000	6,000	6,300
	(b)予算現額	4,925	5,078	5,079	5,599	5,489	
	(c)増減額(b-a)	▲675	▲522	▲921	▲401	▲811	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A.計(b+d)	4,925	5,078	5,079	5,599	5,489	
	B.執行済額	4,925	5,078	5,079	5,599	5,489	
	うち交付金充当額	3,939	4,062	4,063	4,479	4,391	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。入札残により401千円減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ハブ生息地の清掃実施 (26,000m清掃)	目標	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	
		実績	清掃完了	清掃完了	清掃完了	清掃完了	
	捕獲器の設置 (15基設置)(R4年度から20基設置)	目標	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	
		実績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了	
巡回管理(週1回)	目標	(巡回管理)	(巡回管理)	(巡回管理)	(巡回管理)		
	実績	巡回管理実施	巡回管理実施	巡回管理実施	巡回管理実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ハブの生息地の清掃を行うことにより、観光地の広範囲で安全対策に繋がった。 令和4年度において本事業のハブ捕獲器設置によるハブ捕獲実績は2匹であった。 引き続き、区長会や村民によるハブ目撃情報の収集を行い委託業者と情報を共有し捕獲実績を上げたい。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	ハブ咬傷による被害件数0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		0件	0件	0件	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	平成28年度においては、ハブ咬傷被害件数は0件で成果目標を達成しているが、平成29年度、30年度、令和元年度において(いずれも本事業実施期間中)各1件ずつハブによる咬傷被害が発生していましたが、令和2年度から令和4年度まで3年連続でハブ咬傷被害件数は0件と成果目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・これまでの清掃業務は除草作業が主で実施していたが、樹木の剪定、枝打ちなどを行ったことで、フェンス外からハブの侵入を阻止できたものと思われるが、隣接する別の敷地の草木が繁茂して来ており、ハブの侵入や住処にならないか懸念している。</p>	<p>・捕獲の事業実施期間は120日(4か月)あるが、ハブは冬眠しないため実施期間の延長や捕獲器の改良や数を増やすなどで捕獲数を上げられないか検討したい。</p> <p>・ハブ目撃現場付近の清掃及び除草作業を呼びかけ又は実施し、ハブの住処を排除する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・青少年旅行村においては多くの観光客や村民が利用する場所であることから、管理委託業者や隣接する地主と連携を密にし清掃・捕獲の効率化と安全対策を図っていく。</p> <p>・別タイプのハブ捕獲器や生餌も試験的に設置し捕獲率の向上を図りたい。捕獲業務においては、目撃情報を主に新規設置場所の検討を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,489	5,489	4,391	1,098	0



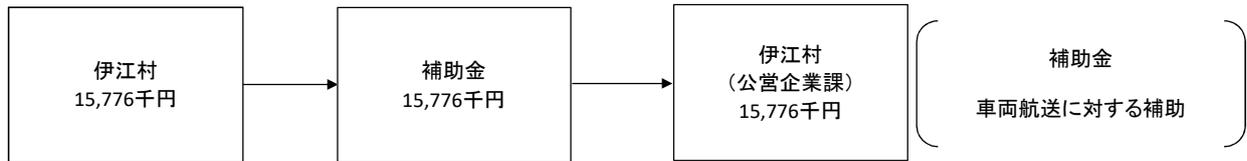
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法として指名競争入札を執行していることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。(土木単価+見積)
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に事業を執行していると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア		
担当部署名	公営企業課	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、経済的な不利性をもたらす割高な交通運賃は、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減事業について往復1台あたり820円の支援を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	14,013	14,175	15,170	15,170	16,072
	(b) 予算現額	14,923	15,866	14,595	14,666	15,775	
	(c) 増減額(b-a)	910	1,691	▲ 575	▲ 504	▲ 297	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	14,923	15,866	14,595	14,666	15,775	
	B. 執行済額	14,923	15,866	14,462	14,581	15,775	
	うち交付金充当額	11,938	12,692	11,569	11,664	12,620	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.1%	99.4%	100.0%	
予算の状況の説明	当初19,600台程度の補助を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による利用者の減少により、296千円の減額補正となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助		目標 (支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	
			実績 支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・車両航送1台につき運転手1名分(820円)の補助を行った。 ・平成26年度から事業を開始し、令和元年度までは航送実績が増加傾向にあったが、令和2年度以降については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う来島自粛要請等により、当初見込みの19,600台から718台下回る19,238台の実績となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	100%	100%	100%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	本事業へのアンケート調査を行った結果、移動しやすい環境になったかの問いに「とても実感している」、「やや実感している」との回答が80%以上となっている。また、今後も継続してほしいとの回答が100%となっており、住民への負担軽減が定住条件の改善や住みよい村づくりへ繋がっているものと考え。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の浸透により、対象件数は減少しているが、未だ離島住民割引カードの利用有効期限切れによる、チケット購入時に正規価格で購入せざる負えない状況がある。 ・車両予約システムの活用により、スムーズな車両航送予約ができています。しかし、航送の30分前には所定の場所で待機するよう村HPや防災無線等で周知を図っているが、未だ駆け込み乗船が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用有効期限更新の申請方法や申請時期などの周知を定期的に行う必要がある。 ・車両航送に係る留意事項について、村HPだけではなく、村内防災無線や公式SNS等を活用し村民や観光客への継続した周知徹底を図っていく。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き村ホームページ及び広報誌、村内防災無線等により当該事業の継続実施や、離島住民割引カードの新規、更新申請方法について、地域住民へ周知するとともに、本島へ移動しやすい環境の構築を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,775	15,775	12,620	3,155	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○事業者は唯一の航路事業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、減額補正があったものの概ね妥当である。 ○費目・使途については予定通りであり、実績報告・検査を実施したところ、目的に即し適正なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①		村花・世界のゆり植栽推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	良質なゆりの球根を購入し、村花であるてっぽうゆりと多彩な世界のゆり球根を確保し植栽することで、「夕日とロマンのフラワーアイランド」を推進し、花の島づくりによる景観形成を図り、地域活性化と観光振興を図ることができる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	3,000	3,000	4,000	4,000	4,000
	(b) 予算現額	2,998	2,713	3,652	3,960	3,980	
	(c) 増減額(b-a)	-2	-287	-348	-40	-20	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	2,998	2,713	3,652	3,960	3,980	
	B. 執行済額	2,998	2,713	3,652	3,960	3,980	
	うち交付金充当額	2,398	2,713	2,921	3,168	3,184	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ゆりの球根購入・植栽 テッポウユリ 52,000球 世界のゆり 38,000球	目標	ユリの球根購入・植栽 70,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	
		実績	ユリの球根購入・植栽 70,191球	ユリの球根購入・植栽 82,250球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・テッポウユリ球根52,000球、世界のゆり球根38,000球を購入し、ゆり祭り会場であるリリーフィールド公園及び観光地並びに沿道等へ植栽した。令和4年度「第25回伊江島ゆり祭り」は規模縮小開催ではあったが、3年ぶりに開催することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(令和5年度)
	第25回伊江島ゆり祭り来場者数 R4年 33,000人	目標	(33,000人)	(33,000人)	(33,000人)	(35,000人)	(40,000人)
		実績		祭り中止 実績なし	祭り中止 実績なし	祭り規模縮小 4,500人	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・第25回伊江島ゆり祭りは、規模縮小で開催をすることができた。来場者は、開催期間の縮小や、フェリーの人数制限等もあり、4,500名であったが、次回のゆり祭りに繋がる開催となった。久しぶりにゆりを観賞する来場者が祭り会場や観光施設等で多く見られた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・植え付け時期等、品種によって異なるため、購入時期を慎重に検討していくことが必要である。 ・古い球根や、前回の球根の植栽においては疫病にかかりやすく他の球根まで影響する事から、今後も新たな球根の購入をしていく事が必要である。 ・観光客は新品種や珍しい品種を觀賞する事を楽しみにされている方が多い事から、ニーズに応えられるよう品種選定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入球根の保管方法や疫病予防の消毒等、受注業者と調整を図り計画的に遂行する。 ・今後も引き続き新品種の導入に向けた球根選定を行い、継続して観光誘客の向上に繋げる取り組みを行う。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・球根の種類により、植え付け時期や開花予定の日が異なるため、開花予定日数を逆算し植付の計画を立てる。 ・球根の購入時期については発注計画を立て導入したい球根の在庫不足にならないように早めに実施する。 ・購入したい品種の選定、数量を早めに決定する。 ・継続して新品種を導入することで、ゆり祭りの魅力を更に向上させ観光誘客に繋げる。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,980	3,980	3,184	796	0



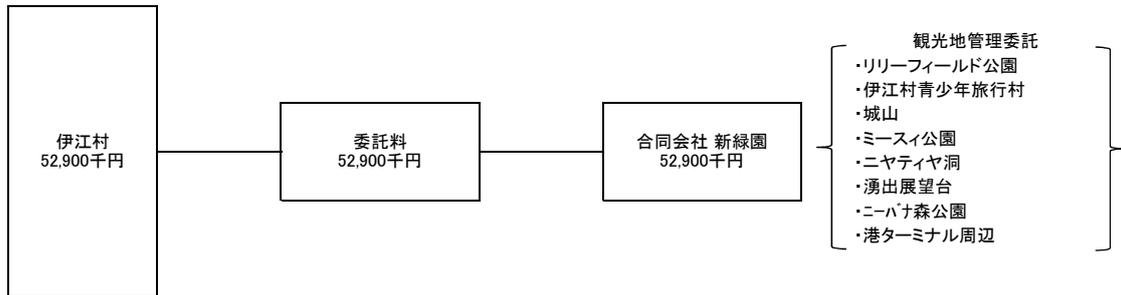
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約した業者は、てっぽうゆり及び世界のゆり球根を生産・調達できる村内唯一の業者となっているため妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○複数の見積書を徴収し予算を決定しているので適正な規模であると考え。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については事業目標達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②		観光地クリーン事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年～令和13年	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	魅力的な観光地として景観形成及び観光客数の維持・増加を図る為、観光地の美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	20,100	20,800	51,700	54,000	55,000
	(b) 予算現額	17,881	20,731	51,700	52,690	52,900	
	(c) 増減額(b-a)	-2,219	-69	0	-1,310	-2,100	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	17,881	20,731	51,700	52,690	52,900	
	B. 執行済額	17,737	20,731	51,700	52,690	52,900	
	うち交付金充当額	14,189	16,584	41,360	42,152	42,320	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初予算額より2,100千円の減額については、入札執行に伴う減額です。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 リリーフィールド公園、伊江村青少年旅行村、城山、ミースイ公園、ニヤティヤ洞、湧出展望台、港ターミナル周辺		目標 (3か所)	(8か所)	(8か所)	(8か所)	
			実績 3か所	8か所	8か所	8か所	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	今年度も引き続き、観光地等における美化作業及び緑化木管理等を民間事業者へ委託業務を行った。課題であった効率化も定期的に管理を行うことが出来たため、安定した景観向上に寄与することができている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地として景観形成が図れたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 (70%)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
			実績	100%	100%	100%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	観光客に対して、アンケート調査を実施した結果、景観形成が図られたとの回答が100%であり、目標値の80%以上を達成することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・草の伸びる時期や剪定の時期などがあるため、適宜現場を確認し業務遂行する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・機械化の導入により効率化が図れることから、受注業者と遂行方法及びスケジュールの確認を密に行う。 ・台風等の災害が起こった場合は、復旧における業務の範囲を事前に確認し、効率よく復旧作業に取り組める準備をしておく。 ・機械化による安全管理の徹底を促し、事故の無い業務執行に努める。
	・発注スケジュールを計画的に遂行する。	
	・取り組み実績を把握するため、適宜現場での立ち合い、写真管理等により現場状況をしっかりと把握する必要がある。	
	・機械化により効率が良くなる半面、安全管理を徹底し事故の無い安全な現場管理に努めるよう促す。	
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託業務により、業務を遂行するため、適宜に現場確認や状況確認を行う。 ・観光地美化による作業日程管理、作業個所の優先順位や方法等、最適な作業効率化を図り、観光地として景観向上に引き続き取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
52,900	52,900	42,320	10,580	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託事業者は、プロポーザルにより業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については事業目標達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 観光誘客整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容		伊江村の観光振興を図るため、誘客整備に係る取組としては、観光案内板機能向上事業、誘客推進に係る取組として、伊江島ゆり祭り誘客事業、伊江島ハイビスカス園HP制作事業、観光インフォメーション委託事業等を実施した。					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	105,000	125,984	49,298	30,895	48,083
	(b)予算現額	100,505	78,913	47,114	22,371	14,348	
	(c)増減額(b-a)	-4,495	-47,071	-2,184	-8,524	-33,735	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	100,505	78,913	47,114	22,371	14,348	
	B.執行済額	100,505	78,913	47,114	21,368	14,348	
	うち交付金充当額	80,403	63,130	37,690	17,094	11,478	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	95.5%	100.0%	
予算の状況の説明		当初予算額より9,527千円は、入札残や実績による減額や事業取り下げ等での減額。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	観光案内板機能向上促進事業の実施	目標	(観光案内板の機能向上促進事業)	()	()	()	
		実績	業務完了				
	伊江島ゆり祭り観光誘客事業の実施	目標	(ゆり祭り送迎バス、警備委託)	()	()	()	
		実績	業務完了				
	伊江島ハイビスカス園HP制作業務の実施	目標	(ハイビスカス園HP制作)	()	()	()	
		実績	業務完了				
	観光インフォメーション委託業務の実施	目標	(観光インフォメーション委託業務)	()	()	()	
		実績	業務完了				
観光交通経営安定化支援事業の実施	目標	(タクシーへの助成)	()	()	()		
	実績	実績に合わせ助成完了					
達成状況説明		全ての事業において、概ね予定通り達成することが出来た。観光案内板機能向上促進事業、ハイビスカス園HP制作業務、観光インフォメーション委託業務については、新規事業だったが予定通り遂行することが出来た。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	①青少年旅行村来場者数 R4:96,000人	目標	()	(30,000人)	(28,000人)	(96,000人)	()
		実績			4,600人	5,230人	15,446人
	②本事業について、観光客へアンケート調査を実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績				100%	100%
進捗状況説明		①青少年旅行村の来場者数はR4年度96,000人を目標値としていたが、コロナウイルスの影響による観光客の減少により目標値を大幅に下回る結果となった。 ②観光客等へのアンケートを実施し、利便性(満足度)が確保されているというアンケート結果となった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地の更なる機能向上を図り、更なる観光誘客に繋げるための取り組みを行う。 ・今年度は、コロナの影響でイベントに参加することができなかった為、コロナ対策を講じた上でイベント参加を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊江村の更なる観光誘客を図るため、観光地の機能向上や施設整備などに 取り組んでいく必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び有識者の意見を踏まえながら、今後も観光施設の機能強化を図り、更なる観光客の受入体制を強化することで、伊江村の観光振興の向上に繋げる。 		

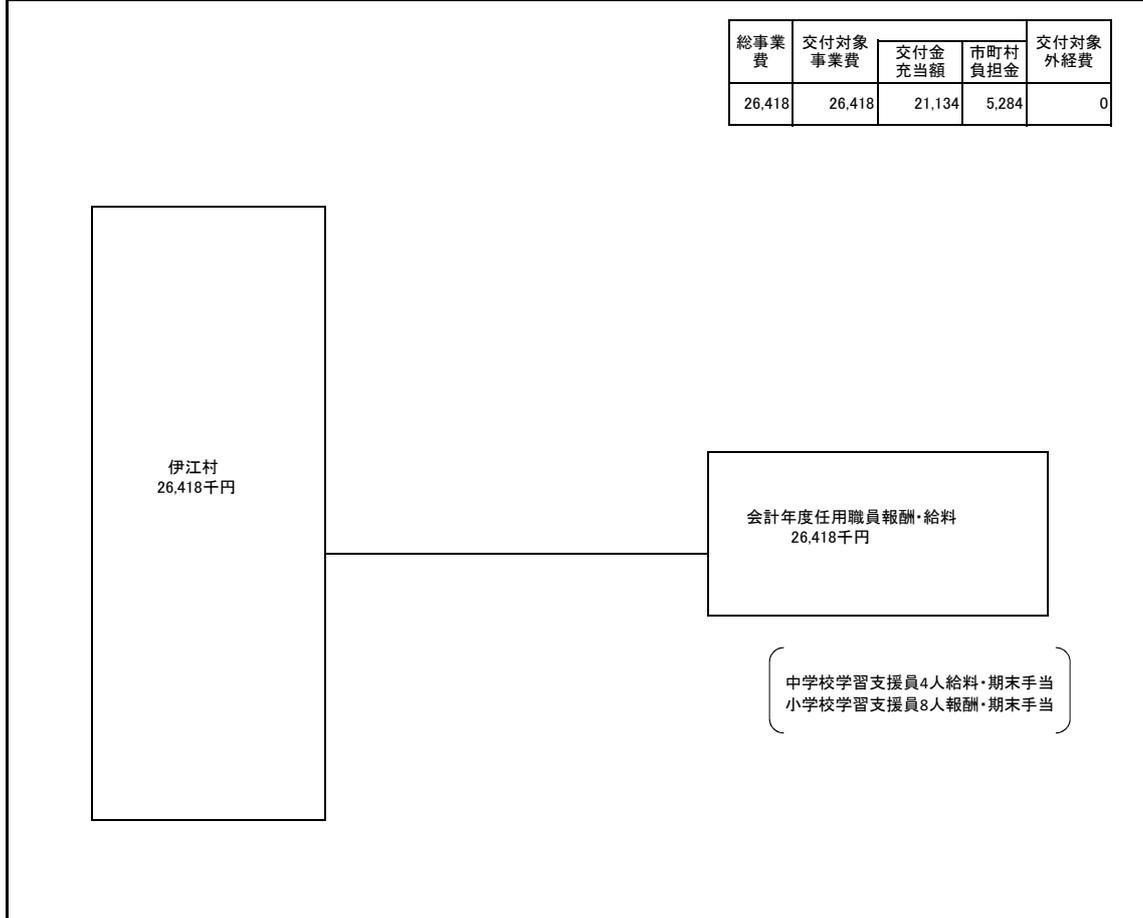
資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">14,348</td> <td style="text-align: center;">14,348</td> <td style="text-align: center;">11,478</td> <td style="text-align: center;">2,870</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	14,348	14,348	11,478	2,870	0				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
14,348	14,348	11,478	2,870	0											
伊江村 14,348千円	委託料 13,020千円	<ul style="list-style-type: none"> (有)サンエス 1,023千円 観光案内板機能向上促進委託業務 (株)伊江島観光バス 3,452千円 伊江島ゆり祭り会場等送迎バス委託業務 ニライカナイプロジェクト株式会社 1,760千円 伊江島ハイビスカス園業務 東洋ワークセキュリティー株式会社 3,907千円 伊江島ゆり祭り駐車場等警備委託業務 伊江島観光協会 2,878千円 観光インフォメーション委託業務 													
	負担金及び交付金 1,328千円	<ul style="list-style-type: none"> 伊江島観光バス(株) 1,328千円 伊江村観光交通経営安定支援助成金 													
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定は一般競争入札より選定しており、妥当であったと考える												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・入札残は減額し、不要額もないことから予算規模は適正であったと考える。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用、使途については事業目的達成の観点から必要ものなのか等について額の確定時に支出に関する書類により確認し、適正であった。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名		伊江村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	④-1	確かな学力を育む学習支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア			
	確かな学力を身に付ける学校教育の充実							
担当部署名	伊江村教育委員会教育行政課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)			
事業内容	小中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身に付けさせるための学習支援員の配置、更には発達障害など様々な障害がある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立していくための土台づくりを行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		(a) 当初予算額	15,876	15,876	22,134	28,750	30,440	
	(b) 予算現額	14,828	13,940	27,077	27,868	26,418		
	(c) 増減額(b-a)	-1,048	-1,936	4,943	-882	-4,022		
	(d) 繰越額							
	A. 計(b+d)	14,828	13,940	27,077	27,868	26,418		
	B. 執行済額	14,828	13,940	27,077	27,868	26,418		
	うち交付金充当額	11,862	11,151	21,661	21,622	21,134		
	次年度繰越額	0	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	途中退職する支援員がいた為、増減額の金額が大幅にマイナスが生じた。							
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	小学校(2校8人配置)	目標	(2校6名)	(2校6名)	(2校8名)	(2校8名)		
		実績	2校7名	2校8名	2校8名	2校6名		
	中学校(1校4人配置)	目標	(1校3名)	(1校3名)	(1校3名)	(1校4名)		
		実績	1校3名	1校4名	1校3名	1校4名		
達成状況説明	学習支援員配置については、小学校に8名予定が、途中退職で目標人数達成できなかったが、本務教諭と連携をとりながら学習支援をおこなった。中学校においては予定通り人数配置することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	小学校、中学校ともに沖縄県学力到達度調査において県平均正答率を上回る。	目標	()	県平均正答率との差、小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上 県平均正答率との差	県平均正答率との差、小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上 県平均正答率との差	県平均正答率との差、小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上 県平均正答率との差	県平均正答率との差、小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上 ※R5の県到達度調査は小5～中2にて実施された。	()
		実績		○小学校3年 ○小学校4年 小3小4においてははコロナウイルス感染症の影響により未実施。 ○小学校5年 国語-4.8 算数-1.8 ○小学校6年 国語-4.1 算数+1.6 ○中学校1年 国語-7 数学-13.4 英語-7.8 ○中学校2年 国語+7.2 英語+6.9 数学+10.5	○小学校3年 ○小学校4年 小3小4においてははコロナウイルス感染症の影響により未実施。 ○小学校5年 国語-8 算数-11 ○小学校6年 国語-10 算数-7.9 ○中学校1年 国語-3.3 数学+12.5 英語+10.7 ○中学校2年 国語+9 英語+3.1 数学-8	○小5 国-6.5、算-6.1 ○小6 国+1.8、算+1.3 ○中1 国-8.1、数-14.6、英-2 ○中2 国-7.7、数+1、英-1.8		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	令和4年度は小学校6年生が、前年度と比較しても学力の向上がみられる。国語においては、前年度-8から+1.8、算数においては、-11から+1.3まで向上している。中学1年生は県との差がかなり開いているが、前年度比において、わずかながら国語は県平均に近づいている。(+)2)コロナ禍ということもあり、学校を休む子がいる中で、学習進度がそろわないこともある中、担任の指示の下での個別支援等において、その差を埋める事に尽力してくれた学習支援教諭の支援は大変ありがたい。令和5年度は、コロナ禍前の体制に戻ることが想定されるので、授業者との連携を更に密にししながら、児童生徒の学力向上に取り組んでいく。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>達成できなかった要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍ということもあり、学校を休む子がいるなかで、学習進度を揃える事がむずかしかった。 ○教科によって苦手意識を抱えている児童生徒に対する支援の方法について、担任と共通理解を図りながら支援する体制を構築し、実践しているものの、学習の定着には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標は達成できなかった学年もあるが、数値から、少しずつではあるが着実に学力が身につけてきている。 ○引き続き授業改善に努めていくとともに、授業者と支援教諭が協力し、困り感のある児童生徒に対する支援体制の強化と、学習の定着を図るための方策について担任と学習支援教諭が協議し、チームで取り組んで行く。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ○村主催の「学習支援教諭研修会」において、困り感のある児童生徒へのアプローチや支援方法の成功事例の共有を図り、児童生徒への個に応じた支援方法の実践を図る。 ○村教委と各学校の管理職、担任と学習支援教諭の連携を重視し、学習の進度や児童生徒の学習意欲の向上を図るとともに、自立した学習者の育成を目指す。 ○学習支援教諭の安定的な人材の確保に努め、資質向上に資する研修の機会を保障することで、児童生徒の学力の向上を支えていく。

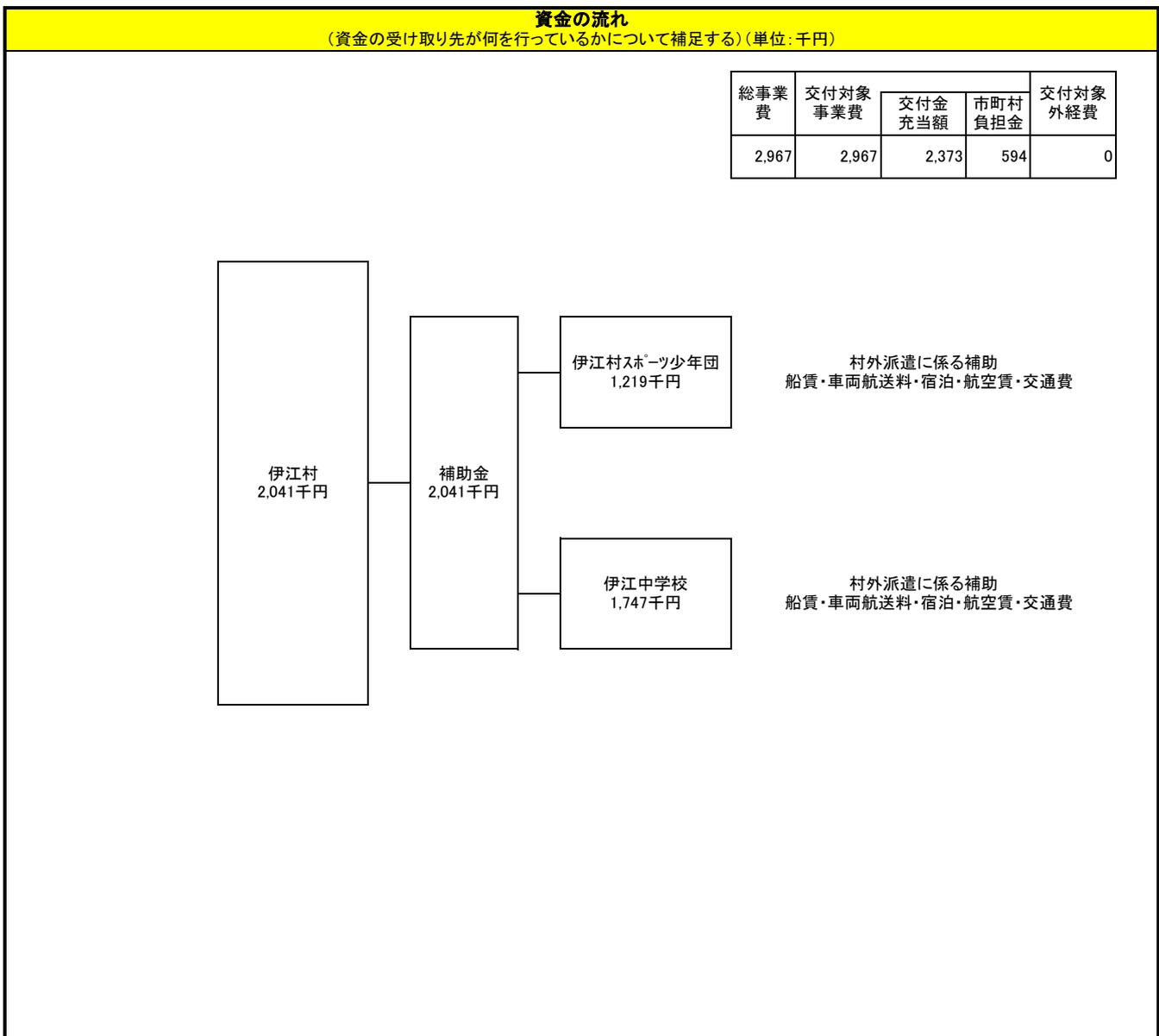
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、伊江村賃金職員雇用管理規則等に基づき、有資格者等を適正に選定、任用しており妥当なものとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○すべての学校において、目標数の支援員を配置することができ、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	④-2	各種大会派遣費助成事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部署名	伊江村教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年～令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実		
事業内容	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		3,700	4,400	4,400	4,000	3,200	
		2,043	3,918	705	2,200	2,967	
		-1,657	-482	-3,695	-1,800	-233	
		2,043	3,918	705	2,200	2,967	
		2,043	3,918	705	2,200	2,967	
		1,205	3,134	564	1,632	2,373	
		0	0	0	0		
		100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	令和4年度から、新型コロナウイルス感染症の影響無く、大会派遣助成が実施できた。実績による、予算額233,000円の減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	各種大会派遣費の助成:1,550人		目標 (派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	
			実績 助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今年度も4月～6月にかけて地区大会など県内大会への派遣活動となった。昨年よりもより大会数が増え、児童生徒の技術力向上とともに、スポーツ面のみならず文化活動でも活躍した。 村外派遣 伊江中学校 795名、スポーツ少年団 688名						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	89.60%	90.30%	90.10%	
	【参考指標】R4年度末時点:約1,550人		目標 ()	(1,550人)	(1,550人)	(1,550人)	()
			実績	2,139人	662人	1,501人	
進捗状況説明	保護者へのアンケートにおいて「児童生徒が広い視野を持つことができたか」の質問に対して、「思う」、「そう思う」と答えた方が90.1%であった。このことから、技術力・競技力の向上や交流の機会をもつことで、村外の児童生徒に対しても臆することなく交流ができた、村内の児童生徒の視野が広がった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、例年よりも大会数が減り派遣人数の当初目標を下回る結果となった。しかし、村外の児童生徒との交流は、限られたチャンスの中でも村内の児童生徒が広い視野を持つことで、技術力・競技力の向上が図られた。</p>	<p>・各種競技の申請者(中学校教員・スポーツ少年団会計担当)を集め、本事業に係る説明会を引き続き行う。対象経費に関する書類の管理や保管を共通理解を持つ。また、社会的環境においてキャッシュレス(カード払い)での精算は、本村では対象外経費として扱っているため引き続き周知する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・各種競技の申請者は、毎年度変わるため事務手続きの注意事項や本事業に係る説明会を引き続き年度始めに行う。 ・児童生徒の広い視野を持つことができたどうかの検証について、引き続き保護者アンケートで実施する。</p>		



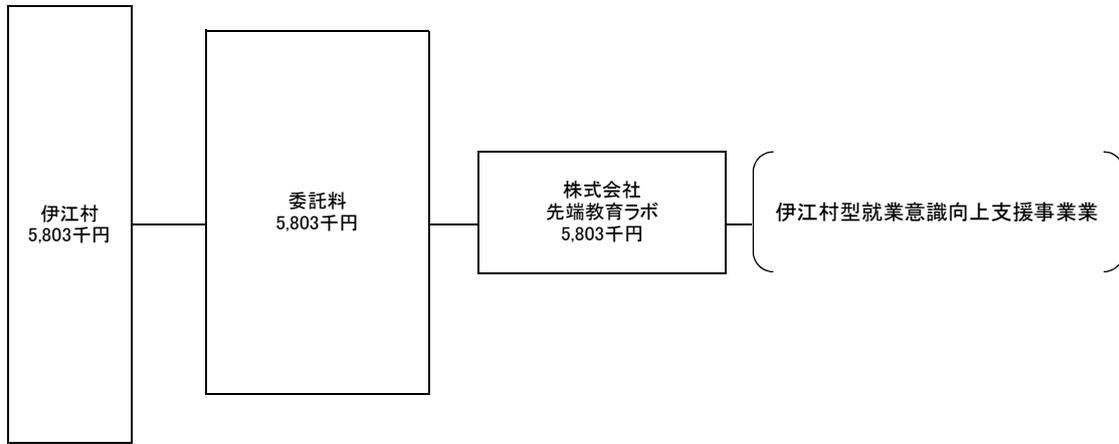
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○[伊江村児童生徒等の大会派遣等に関する補助金交付要綱]に沿って、補助対象者を適正選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○助成対象者を適正に選定していることもあり、執行率は100%であるため、予算規模は適正であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金交付要綱に基づき受益者負担を行っており妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。

市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	伊江村型就業意識向上支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(4)-ア		
	担当部署名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多様な職業能力の育成・開発 Ⅲ-1-(2)	
事業内容	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a)当初予算額	5,794	5,800	5,850	5,849	5,850
	(b)予算現額	5,676	5,800	5,234	5,849	5,803	
	(c)増減額(b-a)	-118	0	-616	0	-47	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	5,676	5,800	5,234	5,849	5,803	
	B.執行済額	5676	5800	5234	5,849	5,803	
	うち交付金充当額	4100	4640	4187	5,849	4,642	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初予算より減額しているのは、公募型プロポーザル方式にて業者選定を実施した結果となっており、予算執行に関しては計画通り実施することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	企業訪問・体験1回	目標	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	
		実績	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	
	職業人講話3回	目標	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	
		実績	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	
	卒業生による進路講話1回	目標	(進路講話開催)	(進路講話開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	
		実績	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	未実施	未実施	
	島のみりよく発見隊1回	目標	(みりよく発信)	(みりよく発信)	(みりよく発信)	(みりよく発信)	
		実績	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	未実施	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学生ではワークショップ形式で事前学習から企業訪問、事後学習及び発表会を行った。 中学校では1年生～3年生までワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施した。 リーダー育成プログラムでは、選ばれた中学生によって「生徒が考える伊江村の課題」について分析や県内・県外の企業訪問、情報の整理・アイデア検討により「思考力」や「表現力」といったコアスキルを高めることができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
			(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。			95.25%	97.75%	98.25%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象にワークショップ形式でキャリア教育プログラムを行い、発表会まで実施。プログラムの中で島の特産品についてインタビューを村内の飲食店へ行き、島への愛着を育むことができた。 中学生を対象にワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施する中で、アイデアの深堀やディスカッションを多く行い、思考力やコミュニケーション力など島建ち後にも必要なスキルの育成、地震の施行・意見を他者に伝える大切さの意識付けにつながった。 中学生の選抜者で実施したリーダー育成プログラムでは、県内・県外へ企業訪問し、幅広い世界を知り、見聞を広げ視座を高く持つことにより、より適した進路選択や将来像のイメージを膨らませることができた。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 小学生のキャリア教育については、ワークショップ形式で実施し、プレゼンテーションを通して「仕事とは何か」といった将来への意識付けを図ることができた。 中学生において、ワークショップ形式のキャリア教育プログラムを実施したことにより、15の島建ちにむけたスキルや意識の醸成を図ることができた。 成果目標達成について、委託事業者・教育委員会・学校において十分に連携し、事業を実施できたことが要因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業等についてこれならない児童・生徒が各学年で数名見かけられた。教員と連携を図ることでより適切な学習支援を行うことができるとかんがえられるため、プログラム全体の打ち合わせや、授業ごとの細かな部分でのすり合わせを行っていくことで、児童生徒全体での就業意識向上へつながっていくと考えられる。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 同事業を継続して行っていくことで、村内の児童・生徒に対する就業意識向上に繋げ、将来の本村を担う人材育成を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,803	5,803	4,642	1,161	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託先についてはプロポーザルにより業者を選定しており、妥当である。 ○予算規模は、全ての事業執行をしており、適正である。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

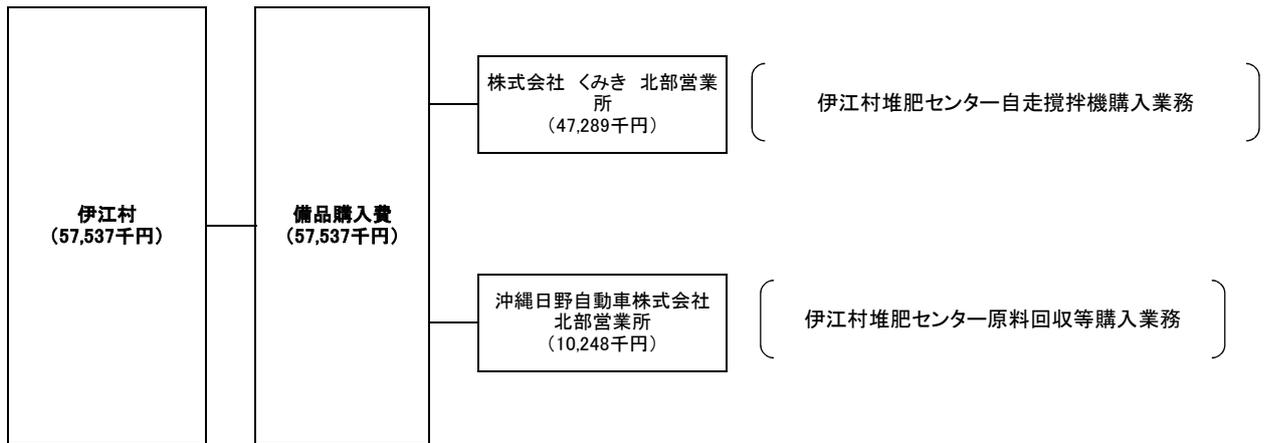
市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-1	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	福祉課	事業実施(予定)年度	R2年度～R6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-3-(3)		
事業内容	本村の遺跡や記念碑等を用いた効果的な平和学習が行えるよう、安心安全な施設環境を確保することで、後世へ歴史を伝える地として、平和学習の促進を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,000	13,000	31,600		
		(b)予算現額	4,686	13,700	27,355		
		(c)増減額(b-a)	1,686	700	-4,245	0	0
		(d)繰越額	-	0	0		
		A.計(b+d)	4,686	13,700	27,355	0	0
		B.執行済額	4,686	13,465	26,015		
		うち交付金充当額	3,748	10,772	20,812		
		次年度繰越額	0	0	0		
		執行率(%) (B/A)	100.0%	98.3%	95.1%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	今年度は一部用地買収の拒否・相続等が発生し、購入不可が出た、令和5年度も引き続き交渉していき購入していきたい。また工事に関しては予定通り工事が出来た。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	基本設計の策定	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	完了				
	実施設計及び分筆業務	目標	()	(実施)	()	()	
		実績		完了			
	VRコンテンツ制作業務	目標	()	(実施)	()	()	
		実績		完了			
	整備工事の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			完了		
達成状況説明	令和2年度で基本計画し、令和3年度で実施設計及び分筆業務(一部)、VRコンテンツ制作業務等を行った。令和4年度は実施設計を元に工事(2カ所)、用地買収を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(7年度)
	整備工事の実施完了	目標	()	(完了)	(完了)	(事業完了)	()
		実績		完了			
	【参考指標】施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
進捗状況説明	今年度は整備箇所5箇所中2カ所の工事、整備に必要な用地の購入を行った。						

市町村名	伊江村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	伊江村循環型農業促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア		
担当部署名	農林水産課 伊江村堆肥センター	事業実施(予定)年度	R4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行うことで循環型農業の促進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	66,000				
		(b) 予算現額	57,537				
		(c) 増減額(b-a)	-8,463	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	57,537	0	0	0	0	
	B. 執行済額	57,537					
	うち交付金充当額						
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	当初予算より-8,463千円の減額については入札執行に伴う減額です。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・原料回収等購入	目標	()	()	()	(2台)	
		実績				2台	
	・自走式攪拌機導入	目標	()	()	()	(1機)	
		実績				1機	
達成状況説明	・年度内に車両・機械が納品された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	・堆肥製造量 R4年 2,100t	目標	()	()	()	(2,100t)	()
		実績				2,100t	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	今年度は、備品購入が完了し、次年度以降に堆肥製造の安定的な供給を行い増産計画である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・備品購入ができ、R5年度より本格的に車両・機械を稼働し安定的な堆肥の供給を図るが、近年化学肥料の高騰により堆肥への切り替えに伴い利用者が増えると思われ、ことから計画的な堆肥製造が求められる。</p>	<p>・循環型農業を促進する上で機械導入で効率的な堆肥製造を早く確立させることを優先する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・今後は、安定的な堆肥製造を早く確立させ、効率的な製造・販売を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
57,537	57,537	46,029	11,508	0



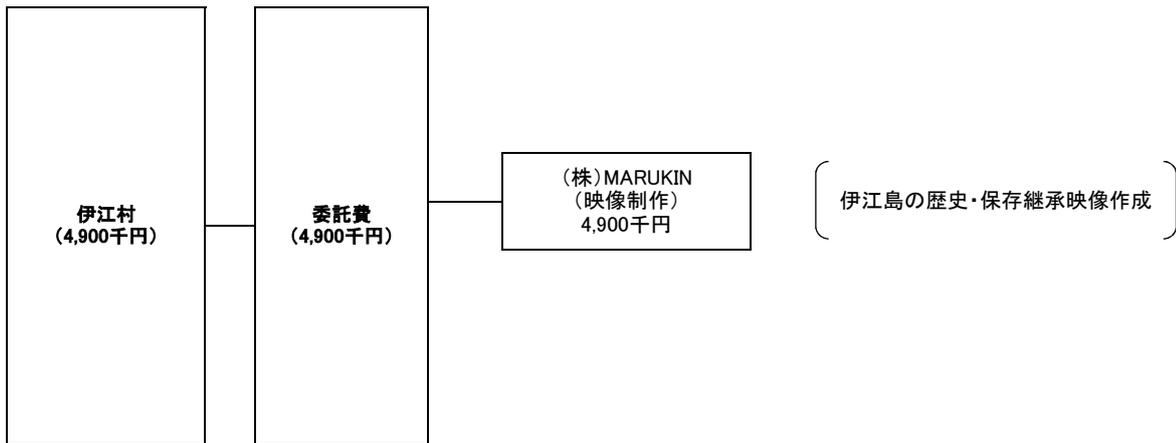
資金の流 用途の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残は減額し、不要額もないことから予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		伊江村					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	伊江島の歴史・保存継承事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-3-(3)		
事業内容	<p>復帰前後を知る、村民や関係者にインタビューを行うとともに、次代を担う児童・生徒の演劇や創作の歌などを収録し、映像化を行う。また、沖縄復帰50周年に係る詩などを作成し、復帰記念イベントを通して発信・普及させることで、若い世代が歴史に触れ、学び、継承していく機会を作る。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,257				
		(b) 予算現額	4,900				
		(c) 増減額(b-a)	-5,357	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0				0
	A. 計(b+d)		4,900	0	0	0	0
	B. 執行済額		4900				
	うち交付金充当額		3920				
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		年度当初、復帰記念イベント及び復帰前後を知る方を招へいしての講演会などを予定していたが、コロナ禍により中止したため5,357千円を減額し、本土復帰に関わる演劇やインタビューなどの映像制作を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	映像制作の実施	目標	(映像制作(5作品))	()	()	()	
		実績	完了				
	記念イベントの開催	目標	(イベントの実施)	()	()	()	
		実績	実施				
達成状況説明	・「生塩睦子さんインタビュー」「黒田操子さんインタビュー」等を通して、伊江村内関係者から聞き取り等を実施し、5作品の映像制作を行った。 ・両小学校の復帰を題材にした平和学習劇や、中学校での本土復帰50年に向けたオリジナルソングを用いての「合唱コンクール」を実施できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R5年度)
	・映像制作の実施完了	目標	()	(映像制作)	()	()	
		実績		完了			
	・復帰当時の伊江村の状況についての理解度80%以上	目標	()	(80%)	()	()	(80%)
		実績		81%			
	進捗状況説明	復帰記念イベント及び復帰前後を知る方を招へいしての講演会などを予定していたが、コロナ禍により中止とした。本土復帰に関わる演劇やインタビューなど5作品の映像制作は予定通り行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・両小学校、中学校でのイベント映像や、各インタビュー動画等を、継続的に歴史学習、平和学習で活用し、広く村民や次の世代へ歴史を継承していくことが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した映像を、村内の児童生徒の学習の場で活用する。 ・村内でのイベント等で作品を上映し、村民にも伊江島の歴史や平和について学ぶ機会を設ける。 ・要望があれば村外から平和学習で訪れる児童生徒へ上映する機会を設ける。
今後の取り組み方針		
<p>作成した映像を、小中学校の平和学習などで活用し、児童生徒へのアンケート調査において、沖縄の日本復帰及び当時の伊江村の状況について理解できたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,900	4,900	3,920	980	0



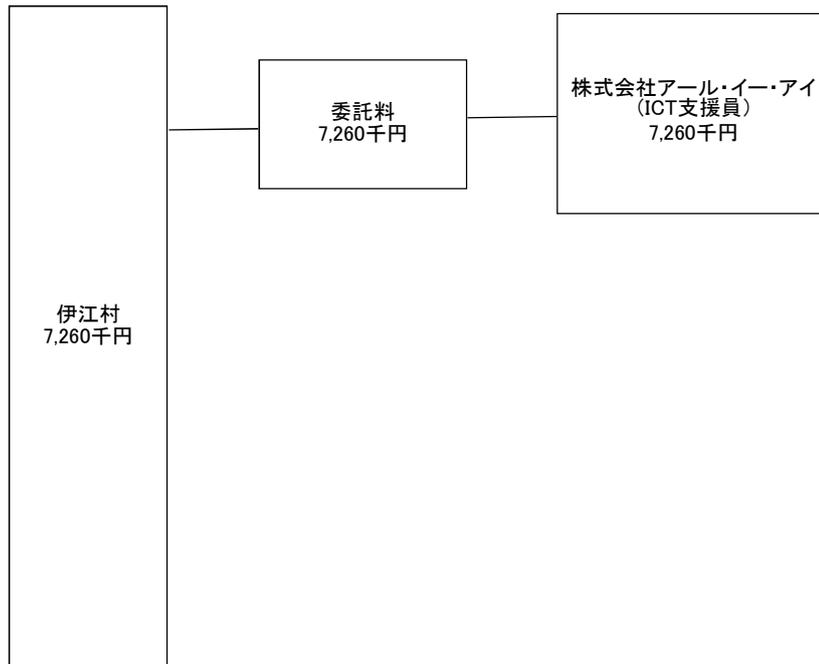
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者はプロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は、コロナの影響で中止した事業もあったが、その他は執行しており、適正である。</p> <p>○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村									
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	9-①	ICT支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ					
担当部署名	伊江村教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和3年度～令和4年度	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	沖縄振興基本方針該当箇所	Society5.0に対応する教育の推進 Ⅲ-3-(1)					
事業内容	学校における教員のICT機器の活用を図るため、村内の小中学校にICT支援員を配置し、教師が授業でICT機器を活用した効果的な授業が行えるよう支援する。										
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度	
		(a) 当初予算額	5,280	7,260							
		(b) 予算現額	5,280	7,260							
		(c) 増減額(b-a)	0	0		0		0		0	
		(d) 繰越額									
	A. 計(b+d)		5,280	7,260		0		0		0	
	B. 執行済額		5280	7260							
	うち交付金充当額		4224	5808							
	次年度繰越額										
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!	
予算の状況の説明		適正に執行を行った。									
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況								
			R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		
	村内3学校にICT支援員を1名配置する。		目標	(小中学校 1人)	(小中学校 1人)	()	()				
			実績	小中学校 1人	小中学校 1人						
			目標	()	()	()	()				
		実績									
達成状況説明		村内3学校にICT支援員を計画通り配置することができた。									
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)				
	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)		目標	()	(80%)	(80%)	()	()			
			実績		小1～小3 87.8% 小4～中3 70% 平均 77.2%	小1～小3 80.5% 小4～中3 88.4% 平均 84.5%					
	・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)		目標	()	(80%)	(80%)	()	()			
			実績		71.4%	64.7%					
進捗状況説明		・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が84.5%、また、教員にアンケート実施し、ICT支援員の配置により、機器の習熟度が上がったと答えた割合が64.7%となった。児童生徒に関しては目標には達したが、教員に関しては、目標には届かなかった。その中でも、ICTを活用することで授業が効果的になったかの問いに対しては100%の回答だった。今後もデジタル教科書等の活用など、更にICT機器を活用する機会が多くなっていることから、引き続き支援員の配置が求められている。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学習指導要領において、情報活用能力(情報モラルを含む)を言語能力と同様に学習の基礎となる資質・能力と位置づけられていることから、更なるICTを活用した学習活動が求められている。	情報リテラシーに関しては、まだまだ個人差が見られることから、ICT支援員を活用し、研修やクラウドなどでの共有を行い、教職員全体のICT機器の習熟度の向上を図る。
今後の取り組み方針		
ICT関連の共有を図るため、今年度からGoogleチャットで教職員全員が情報を見れる環境を整備した。デジタル教科書等の導入もあることから、紙ベースとのバランスもとりつつ、更に効率よくICTの活用を促していく。また、情報リテラシーの研修なども取り入れ、インターネットの知識やセキュリティについての理解も深めていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,260	7,260	5,808	1,452	0



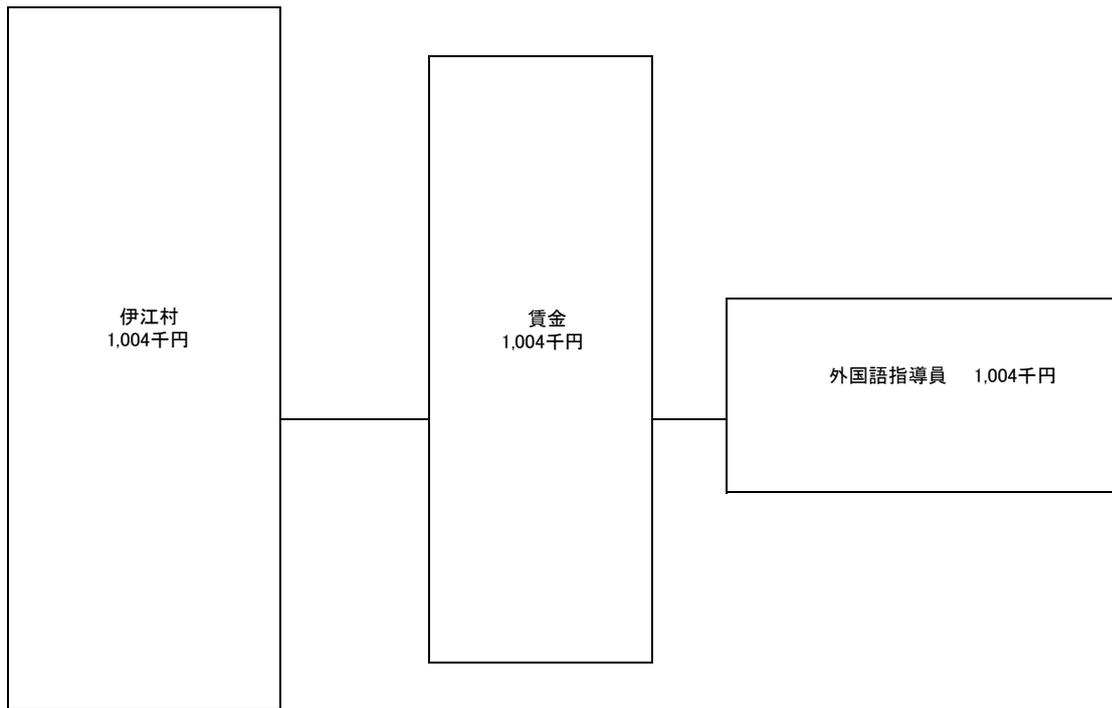
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、実績、履行能力等を勘案し、プロポーザル方式で選定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保された。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成に必要な委託に充当し、限定されている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	外国語指導員派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部署名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和3年～令和13年	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進		
事業内容	小学生の英語への興味・関心を高めるため、幼稚園と小学校に外国語指導員を配置し、外国語授業等の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,120	1,004			
		(b) 予算現額	1,120	1,004			
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額				0	0
	A. 計(b+d)		1,120	1,004	0	0	0
	B. 執行済額		1068	1004			
	うち交付金充当額		854	803			
	次年度繰越額					0	0
	執行率(%) (B/A)		95.4%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	小学校に外国語指導員の配置	目標	(1名)	(1名)	()	()	
		実績	1名	1名			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	学習指導員配置については、当初の予定通り配置し目標を達成することが出来た						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	・児童生徒への英語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
		実績		96%	97%		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	毎年伊江村が各学校において実施しているJr.英検や英語検定において、3・4年生の受験率は100%となっており、また、上級取得者もでており児童たちに英語への興味関心をもたせるとい事業目標を達成していると考えられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスやインフルエンザ等により、学校が休校となり授業が止まってしまうケースがあったため、リモートやタブレット端末教材を活用も検討する。	・小学校においては今後も児童の実態に即した授業展開を行い、困り感を感じている児童へは担任と外国語指導員が連携を図り英語への苦手意識減少へ努める
今後の取り組み方針		
令和5年度以降に関しては、学習指導要領の変更に伴い、各学校との協議の上、外国語指導員を配置しないこととなった。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,004	1,004	803	201	0



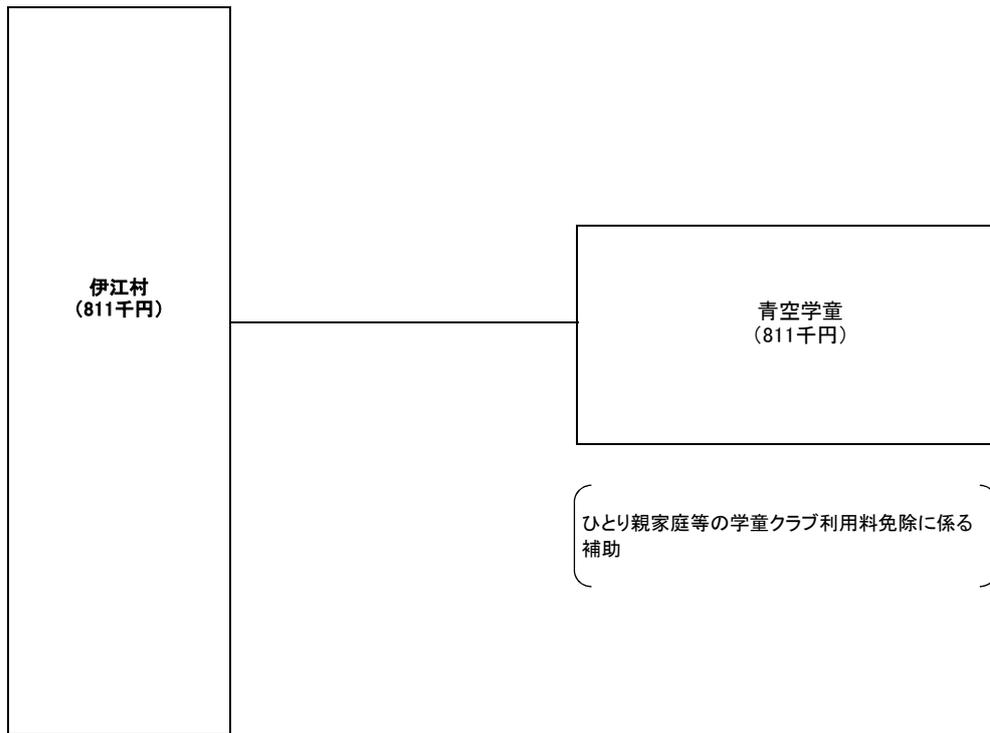
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、伊江村講師謝礼金等支払基準要綱等に基づき、技術的専門職の講習等の講師として適正に選定、任用しており妥当なものとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○すべての学校において、目標数の外国語指導員を配置することができ、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	伊江村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12-①	ひとり親世帯等学童利用支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(1)-ウ		
担当部署名	教育委員会 教育行政課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への支援 Ⅲ-3-1		
事業内容	ひとり親家庭の学童利用に係る負担軽減を図り、学童保育を利用できる環境を整え、学童利用者に対し利用料を減免した場合に補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
		(b) 予算現額	1,481				
		(c) 増減額(b-a)	811				
		(d) 繰越額	-670	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	811	0	0	0	0
	B. 執行済額		811				
	うち交付金充当額		648				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明		当初に計画していた対象者21名から10名への実績に伴う、予算額670千円を減額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	ひとり親家族等に対して利用料を減免した学童保育施設に対し、補助を行う。		目標	(1園)	()	()	()
			実績	1園			
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	利用料の減免に対する支援について、対象世帯へ1ヶ月11,000円的全額利用料免除を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	安心・安全に子どもを預ける事ができ、育児の負担軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する		目標	() (80%以上)	()	()	()
			実績	100%			
			目標	() ()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	円滑に支援を実施してきたことで目標達成し、ひとり親家庭への負担軽減を図ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>保護者が利用する学童へ直接申請し、学童が請求・助成を行うことにより保護者の手続きを簡略化し、保護者が学童を利用しやすい環境となっている。 また、年度途中に必要としている家庭もあるため、漏れがないよう学童との連携を図り、継続的に周知を行っていく。</p>	<p>今後も継続して事業を行う中でアンケートの実施を検討し、学童を利用する保護者への負担軽減を確認するとともに目標達成を継続する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>4月に入ってくる申請者だけでなく、年度途にでてくる対象者にも支援の漏れがないよう、学童クラブとの連携を図り継続的に周知を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
811	811	648	163	0



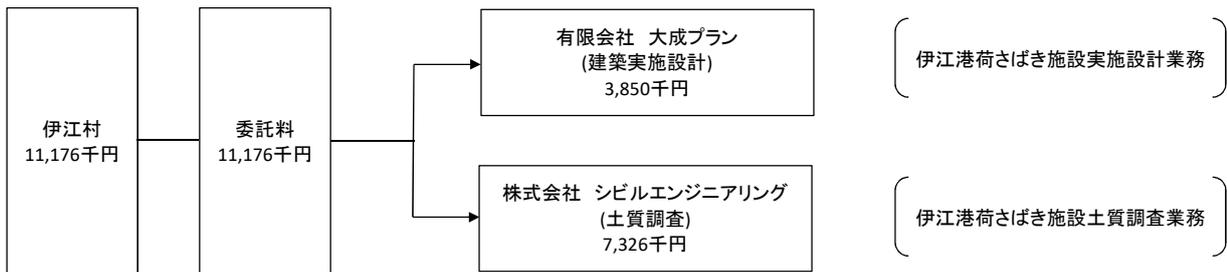
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○[伊江村ひとり親家庭等預かり保育料補助事業実施要綱]に沿って、補助対象者を適正選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○助成対象者を適正に選定していることもあり、執行率は100%であるため、予算規模は適正であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金交付要綱に基づき受益者負担を行っており妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。

市町村名	伊江村							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	13-①	離島定住環境基盤整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-イ			
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心な生活を支えるインフラの整備 Ⅲ-9-2			
事業内容	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷さばきを実施できる施設を整備する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	0
		(b) 予算現額	11,176					
		(c) 増減額(b-a)	11,176	0		0	0	0
		(d) 繰越額						0
		A. 計(b+d)	11,176	0		0	0	0
		B. 執行済額	11176					
		うち交付金充当額	8940					
		次年度繰越額	0					0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		予算の状況の説明	予算の範囲内で適切な執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況						
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		目標	(実施設計実施)	()	()	()		
		実績	実施設計実施					
	目標	()	()	()	()			
	実績							
達成状況説明	スムーズに業務が遂行され、施設の新築工事に必要な設計図書、計算書、設計書の作成ができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)		
		目標	()	(実施設計完了)	()	()	()	
		実績		実施設計完了				
		目標	()	()	()	()	()	
	実績							
	進捗状況説明	村民が安心・安全に日常生活必需品等の荷さばきを実施できるよう、伊江港荷さばき施設新築に向けた実施設計が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	建設資材の価格上昇や杭工事費の増などにより、貨物の一時保管のための扉の設置は見込めないが、当初予定した規模での施設整備を行いたい。	施設を整備することで、貨物の受渡しなどで安心・安全な荷さばきが可能となるものと思われる。
今後の取り組み方針		
令和5年度に工事を行い年度内に完了する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
11,176	11,176	8,940	2,236	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札を執行していることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に業務を遂行していると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	